

OATGA15 医情報処理学特論

1.0 単位, 1 年次, 春AB 金6

大原 信, 讃岐 勝

授業概要

目標: 病院の医療情報システム（電子カルテ）の概要について理解する。医療情報とその処理技術が、いかに我が国の現代医療を支え、病院機能並びに、医療安全を支えているかを理解する。現在の我が国の医療の今日的課題に医療情報とその処理技術がいかに役立つかを論じることができる。イントロダクションののち、病院情報システム概説、医療分野における個人情報保護の重要性「電子カルテ」システム、地域連携システム、医療安全、および医療情報システム標準化の課題等についてトピックスを中心に解説する。それらの知識を元に、課題について取り組み、自分の考えをまとめる

備考

対面

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

批判的・創造的思考力

協働性・主体性・自律性

Ability for critical and creative thinking

Cooperative, Independent, and autonomous attitudes

授業の到達目標（学修成果）

現在の我が国の医療の今日的課題に医療情報とその処理技術がいかに役立つかを論じることができる。

Upon completion of this course, students will be able to examine current medical issues in Japan, through medical information technology

キーワード

電子カルテ, 標準化, 医療安全, 医療AI, 保険医療制度

Electronic Health Records, Standardization, Patient Safety, Medical AI, Medical Insurance System

授業計画

今年度は講義形式で行う。

Only onsite lectures

第1回 大原信 OHARA Makoto 医学医療系
イントロダクション

- Overview and introduction to Medical Informatics
- 第2回 大原信 OHARA Makoto 医学医療系
病院情報システム(電子カルテ)概説
Hospital Information System (HER) and Electronic Health Record(HER)
- 第3回 大原信 OHARA Makoto 医学医療系
医療情報システムと個人情報の保護
Protection of personal information in HER
- 第4回 美代賢吾 MIYO Kengo 客員講師(国立国際医療研究センター)
医療安全、トレーサビリティへのICT活用
I C T for medical safety and traceability
- 第5回 古田淳一 FURUTA Junichi 医学医療系
保険診療における医療情報システム
Medical Information System in Health Insurance Treatment
- 第6回 大原信 OHARA Makoto 医学医療系
医療情報システム標準化の課題
Issues in Standardization of Medical Information System
- 第7回 美代賢吾 MIYO Kengo 客員講師(国立国際医療研究センター)
医療と情報システムの国際比較(ドイツを事例に)
International Comparison of Medical and Information Systems
(EHR in Germany)
- 第8回 讃岐勝 SANUKI Masaru 医学医療系
医療データの収集と情報セキュリティ
Medical Data Collection and Information Security
- 第9回 讃岐勝 SANUKI Masaru 医学医療系
生成系AIで作る医学教育・医療情報システム
Medical education and medical intelligence systems created with
generative AI
- 第10回 大原信 OHARA Makoto 医学医療系
医療DXについて
Digital Transformation for Medical Welfare in Japan

授業は講義の受講のみである

授業後は復習すること

Only onsite lectures

Reviewing after class

履修条件

特になし

None.

成績評価方法

授業に対する積極性（質問、ディスカッション）と、学期末にレポートによりA+～Cで評価する
A+ - C rating (Evaluated by Report and Active attendance)

割合は積極性（20%）レポート(80%)である。

Active attendance (20%) Report(80%)

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業は講義100%(10コマ)

授業後は復習すること

Lectures etc (10).

Reviewing after class

教材・参考文献・配付資料等

1. 日本医療情報学会編 医療情報サブノート 篠原出版社
2. 保健医療福祉情報システム工業会 医療情報システム入門 社会保険研究所

オフィスアワー等（連絡先含む）

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

講義は順序を守って受講することが望ましい。

レポート提出期日を厳守すること

Keep the report deadline.

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）